

# 平成29年度専門家派遣事例

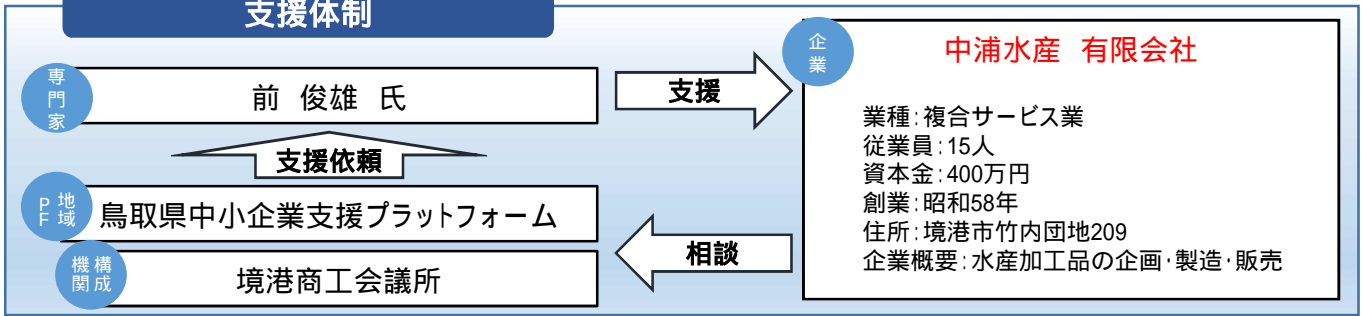
中 国

平成30年3月

# 目次

都道府県	支援元機関名		ページ
	企業名	支援テーマ	
鳥取県	境港商工会議所		1
	中浦水産 有限会社	海産加工食品の開発と販売戦略の立案の支援	
島根県	島根県よろず支援拠点		2
	株式会社 日本ハイソフト	原価管理システム開発販売におけるクラウド化導入の支援	
岡山県	岡山県商工会連合会 / 備北商工会		3
	有限会社 高木建設	新卒社員採用のための就業規則整備と休日カレンダー作成	
広島県	株式会社 広島銀行		4
	有限会社 ライフベストテクノ	出展ブースのディスプレイ・撮影指導～ビジュアル戦略支援！	
山口県	公益財団法人山口・防府地域工芸・地場産業振興センター		5
	ヤマトズ ウェブ ギャラリー	伝統のある窯元による情報発信強化とネット販促支援	

## 支援体制



## 支援概要

## 支援の経緯

本企業は、関連企業に卸・小売部門を有している。関連企業の運営する大漁市場なかうら内に本企業の所在地があり、同店舗で販売する商品を企画・製造している。大漁市場なかうらは、鮮魚と水産加工品、土産品などを販売する観光施設であり、市内には水木しげるロードなどの観光地や漁港などもあり、多くの観光客が訪れる地域となっている。本企業は境漁港に水揚げされた鮮魚、魚介類を活用したオリジナル商品を開発し、山陰ならではの商品を提供してきた。しかし、来店客の購買意欲を高める商品にまだ不足感があり、新商品の開発が重要課題となっていたため、当機関に相談があった。

## 派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当機関担当職員がヒアリングしたところ、水産物の仕入れなどについて、鳥取県漁業協同組合との連携が取れているため、農工商連携に基づく商品開発することに加え、鳥取県農商工ファンド事業による補助事業活用のための支援を行うこととした。顧客満足度を高める商品づくりを目指すことになったが、当機関には水産加工品の商品づくりと顧客満足度を獲得するマーケティングに精通する者がおらず、この分野で実績豊富な本専門家に依頼した。

## 専門家による具体的な支援内容

本企業と鳥取県漁業協同組合による農工商連携事業と連携することで、「甘えび」「のどぐろ」「笹かれい」といった山陰の海産物特産品を活用した海鮮食品・海鮮加工食品の開発支援を行った。そのため、消費者ニーズ、需要先、競合の外部環境の分析手法などを用いて環境分析の指導した。また、保有資源の有用性分析はじめ、商品開発後の、顧客満足度測定のための消費者調査設計、マーケット展開表の作成の支援も行った。開発商品模型の作成支援も行い、競合品との内容物・パッケージデザイン・容器の形態・販売価格を比較することで、市場新規参入者として自社の優位性を確認した。

好評の「カニトロ焼売」のアイテム増加などに取り組む



## 成果

農工商連携の試作・商品開発を計画し、魚を使用した商品作りでは、それぞれの魚種のもつ商品特性を活かし、他にない商品を開発する計画を立てた。専門家の支援による外部環境分析や顧客満足度を鑑みると、これまで人気が高い商品は乾燥魚類を100%使用した「お魚チップス」であった。そこで従来の「いわし」「いか」「ちりめん」「えび」に加え当地の名産品を使用した高級品「紅ずわいがに」「甘えび」「笹かれい」「白いか」「のどぐろ」などのチップスを製造販売する計画を立てた。また、チップス以外では、「魚粉碎機」を新設し、「ふりかけ」の製造も検討した。具体的な開発販売計画を策定できたことで、鳥取県農商工ファンドに申請することもでき、顧客満足度を獲得する事業を展開していける体制を構築した。



「笹かれい」を活用したチップスを製造する計画を策定

## 専門家の声

氏名: 前 俊雄

保有資格: MBA経営学修士、認定支援機関等  
専門分野: 地域資源活用、農工商連携、創業、販路拡大・販促支援等

専門家の声: 農工商連携は、地域の優れた素材を見つけ、優れた技術を組み合わせ、最適のネットワークを活用し、食材のモジュールの組み合わせで新商品を作っていくことが重要である。今後もこの点を中心に継続的に指導ができたらと考えている。



## 事業者の声

農工商連携を行う際には、「素材」「地域」「連携」「商品」などを結合させ、計画を策定する必要がある。今回の取り組みで農工商連携では、第1次産業、第2次産業、第3次産業を融合させて取り組む重要性が理解できた。今後、さらに「創発の経済」が期待できる農工商連携で新たな商品作りに取り組んでいきたい。

支援体制

専門家

山田 耕造 氏

支援

企業

株式会社 日本ハイソフト

支援依頼

拠点支援  
よろず

島根県よろず支援拠点

相談

業種: 情報通信業  
従業員: 47人  
資本金: 1,000万円  
創業: 昭和59年  
住所: 島根県出雲市西新町1丁目2548-7  
企業概要: 企業向けパッケージソフト開発販売

支援概要

支援の経緯

本企業は、1985年創業以来、販売管理、工事管理、在庫管理のパッケージソフト開発を手掛けている。現在開発中の原価管理パッケージソフトが、新たな販売ターゲットである建設業・土木行の現場に即したシステムであるかの検証をしていたが、現状の予算では手動入力システムとなり、工事工程管理システムの運用において、月次報告メニューや原価管理総括表がなく、収益管理発注システムが機能していなかった。そこでBIMシステムの数量積算機能とシステム連携することなどで付加価値を付け、建設業・土木業現場という新たな市場を発掘したいと当機関に依頼があった。

専門家による具体的な支援内容

当拠点のCoがヒアリングしたところ、開発中の原価管理システムが実際の現場に即しているのか、原価管理システムにおける工事管理の改善及び評価検証が必要だと考えられた。また、BIMシステムの自動積算見積機能と工事管理システムの連携を図ることで、入力から出力まで一貫してひとつのシステムで運用できる総合パッケージ商品を生み出したいとの要望があった。しかし、当拠点に専門的なCoがいなかったため、大手ゼネコンの管理部門、現場の所長を経験し、原価管理システム構築に関し適切な支援が期待できる本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

まず、現在の工事管理システムの運用方法について詳細にヒアリングを実施した。従来のパッケージソフトにクラウド方式を導入するにあたり、プログラムの調整及びシステム修正についてアドバイスし、工事管理システムの課題を明確にし、改善目標を設定した。また、土木・建築の見積作成システムをExcel等出力により標準化するとともに、工種別実施予算書の自動入力化、発注別実行予算書による適切な該当予算の抽出、契約発注・出来高請求処理の円滑化、新規月次報告書シート導入による経営層へ必要な数値情報の共有化をアドバイスした。



出雲市西新町の本社

(下)支援風景

成果

経営層に必要な数値情報について、クラウド方式により現場部門からのデータアクセスがタイムリーに可能となり、現場部門の所長と常設部門の経理との情報共有がフラットに出来るようになった。また、原価管理システムとBIMとの連携については、市場性拡大が見込まれる中で、原価管理システムの構築、改善、改良により全国に販売できるパッケージソフトが完成した。今後はBIM関連ソフト組合せによる相乗効果の理解と認識についての社内教育を行い、連携システム構築などをナレッジ化することで拡販にも繋げていけると考える。



専門家の声

氏名: 山田 耕造

保有資格:

一級建築士・一級施工管理技士

専門分野: 経営革新・下請企業支援

専門家の声: 技術者実務レベルで、

既存のADVANCE/Winパッケージソフトの内「工事管理システム」の原価管理を実態に合ったシステムの改善を行うとともに、BIMソフトとの連携による新規市場の構築に期待したい。



事業者の声

1993年に工事(原価)管理システムを開発し、その年より販売を開始。今日に至っておりますが、最近は販売も伸び悩み、どうしたものかと思案していたところ、ミラサポ支援事業より山田耕造先生をご紹介頂き、専門家目線での弊社パッケージの分析及びそれに基づいた提言を頂き、誠に有難うございました。お陰様で、他社製品(BIMシステム等)とのデータ連携及び現場での活用(クラウド方式)さらには、それらとのセット販売という、今後の販売手法に関して参考になることが多々ありました。本当に素晴らしいご支援を有難うございました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000Rxf4fAAB>

## 支援体制

専門  
家

成川 彰浩 氏

支援

地域  
P.F.

岡山県経営支援プラットフォーム

機  
構  
関  
連

岡山県商工会連合会 / 備北商工会

相談

企  
業

有限会社 高木建設

業種: 建設業

従業員: 7人

資本金: 1,000万円

創業: 昭和47年

住所: 岡山県高梁市成羽町下原496-1

企業概要: 木造・鉄筋住宅の新築・増改築等

## 支援概要

## 支援の経緯

本企業は、昭和47年の創業以来、木造・鉄筋住宅の新築・増改築、高齢者向けリフォームを手掛けてきた地域密着型の建築工事業者である。中心となって活躍する社員の高齢化に伴い、優れた技術の継承と今後の経営を見据え、新卒の社員を採用し、本企業を中心となる人材を育成したいと考えていた。しかし、「働き方改革」などワークライフバランスの見直しが問題となっている中で、新卒社員を受け入れる際の注意点と、それに伴う就業規則の見直しを図りたいと当機関に相談があった。

## 派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当機関の担当職員が、就業規則の内容確認と共に、雇用・労務関係についてヒアリングを行ったところ、人材確保に向けて労働条件を整備すると共に、人材育成も大きな課題であることが明らかになった。そこで、雇用や労務関係の支援実績が豊富であり、かつセミナーを開催するなど人材育成にも力を入れている本専門家に依頼した。

## 専門家による具体的な支援内容

就業規則を現在の法令に合った内容に改定し、労働時間や休日数の見直しを図った。また、有給休暇の取得についても、ルール等を説明し、社員が元気でやる気の出る職場環境の整備を目指すこととした。

その中で、若手社員にとって休日がカレンダーで指定されている方が、仕事とプライベートの区別がハッキリし家族にも喜ばれること、新卒社員の採用においても、プライベートの時間確保はアピールポイントになることから、「年間休日カレンダー」を作成し、これに併せて「1年単位の変形労働時間制」を採用し、社員へ周知することをアドバイスした。

支援風景



## 成果

1年単位の変形労働時間制については、繁忙期等を十分考慮したうえで、業務に支障をきたすことなく、社員も休日を満喫できるように「年間カレンダー」を作成することができた。また、社員代表との労使協定、労働基準監督署へ届出する協定届の作成をサポートしていただいた。

現在、ハローワークを通じて新卒社員の求人募集を行っているが、社内の労働条件を整備することは、本企業の強みとなり、学校の就職担当者にも十分アピールできると考えられる。



年間休日カレンダーを作成

## 専門家の声

氏名: 成川 彰浩

保有資格: 特定社会保険労務士 / 行政書士

専門分野: 人材定着・人材育成 / 創業支援 / 雇用・労務関係

専門家の声: 就業規則、労使協定等の整備により、労使間トラブルを避けることができる。経営者も労務管理のレベルがあがり、人材育成を含めた新卒社員の受入体制が整備できた。



## 事業者の声

成川先生にご相談させていただき、新卒社員の受入れ体制の整備だけでなく、現在当社が抱えている問題点や人事労務のアドバイス、今後のビジョンを考えるきっかけとなり、大変参考になりました。

さらに、年間カレンダーの作成により、社員も休日を計画的に活用することができ、仕事もプライベートも充実することで、より良い成果が生まれるのではないかと期待しております。

今回の支援を機会に、高い技術力の継承が円滑に行われるよう、社員一丸となって取り組みたいと思います。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000fuladAAE>



支援体制

専  
門  
家

竹本 宗文 氏

支援

企  
業

有限会社 ライフベストテクノ

業種：製造業  
従業員：3人  
資本金：300万円  
創業：平成6年  
住所：広島県福山市松永町6-14-29  
企業概要：人材育成のコンサルティング  
化粧品の製造販売

地  
域  
P  
F

ひろしま中小企業支援ネット

相談

機  
構  
関  
連

株式会社 広島銀行

支援概要

支援の経緯

本企業は、人に関するコンサルティングサービスと、人と環境に良い製品の製造・販売を通して、社会に持続的な貢献を行う企業づくりを目指し平成6年に創業した。さらに地球環境と身体の健康に興味を持ち平成12年に会社設立、平成22年には、第二創業として化粧品製造業と化粧品製造販売業の許可を取得し事業を拡大している。地元で開催される「第1回せとだレモン祭」に出展することになり、当日の販売だけではなく、今後につながるノウハウを確立したいとの要望があり、当機関に相談があった。

派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当機関担当者が本企業のニーズヒアリングをする中で、「第1回せとだレモン祭」への出展ブースのディスプレイを活用して自社HPやSNSの訴求力を高めたいというニーズが明らかになった。そのため、以前、商品写真の撮影で支援を受けた実績があり、SNSの活用にも知見のある本専門家に依頼した。

専門家による具体的な支援内容

催事における出展ブースのディスプレイ・デザインの提案(商品の配置やライティング等)を行うとともに、今後は自社単独で効果的なディスプレイが再現できるように指導を行った。また、現地で、HPなどで使用できる商品写真の撮影指導も行った。



本企業主力商品  
洗顔化粧石鹸(優美)

成果

「せとだレモン祭」のイベント会場に来られたお客様だけでなく、近隣の商社の方にも興味を持っていただき、今後の人脈作りにつながった。初対面の方ばかりだったが、購入だけでなくギフト依頼も承ることができた。今回撮影した商品写真は、既に本企業HPの商品紹介でも使用しており、商品のイメージアップにも繋がっている。また、今回の支援により得た最も大きな成果は、本企業が単独で効果的なディスプレイを再現できるようになったことである。今後、さまざまなイベントを通じて、効果的に自社商品をPRできるノウハウを習得できた。早速、次回参加のイベントで実践予定である。



第1回せとだレモン祭への出展ブース

専門家の声

氏名：竹本 宗文  
保有資格：ビジュアル戦略プロデューサー  
専門分野：IT/SNSのプロモーションと販売戦略のプランアップ  
専門家の声：今回ビジュアル戦略プランを行わせていただきこのミニスタジオの体験・催事でのディスプレイのレクチャーを行うことにより自分達でもできる自信を身につけていただきました。



事業者の声

竹本宗文先生にご相談させていただき、HPやSNSやチラシ等の画像をはじめ、出展イベント等のディスプレイの仕方は商品を販売していくうえで、とても大切で、それを、学べたことは、大変有意義でした。商品を、どのように見せていくかは、とても大切と感じています。瀬戸田での販売イベントでは、ブースに寄ってくださる方、興味を持ってくださる方が今までより多かったです。これを踏まえ、機会があります時は、ご指導いただければと思っています。素晴らしいご支援、ありがとうございました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/0035F00000t5BgMQAU>

平成29年度専門家派遣事例

## 支援体制

専門家

重楽 輝昭 氏

支援

企業

ヤマトズ ウェブ ギャラリー

支援依頼

地域  
PF

山口県経営支援プラットフォーム

機関  
構成公益財団法人山口・防府地域工芸・  
地場産業振興センター

相談

業種：製造業  
従業員：3人  
資本金：-(万円)  
創業：平成23年  
住所：山口県宮野上2419-2  
企業概要：山口萩焼製造販売

## 支援概要

## 支援の経緯

本企業は山口市で125年の歴史を持つ萩焼窯元である。また事業主は、世界的な著名キャラクターとのコラボアイテム開発等、クリエイターとして斬新な活動を行っている。インターネットでの情報発信及びネット販売には、早期から取り組んでおり、HPやショッピングサイトを自社で運営するとともに、SNSも積極的に活用している。今般、HPやショッピングサイトの内容、デザイン、SEO対策等にかかる高度化について当機関に相談があった。

## 派遣元機関による実施内容と専門家選定理由

当機関の担当者がヒアリングを行ったところ、ネット販売状況は芳しくない状況である。サイトへの来訪者をもっと増加させると同時に、売上向上にむけて、消費者が購入しやすい仕様に変更する必要があることがわかった。そこでネット販売の実践経験が豊富で、ネットマーケティング、Web言語の知識を有する本専門家に依頼した。

## 専門家による具体的な支援内容

まず、公式HPやサイトの統一性を持たせるために、デザインに統一感をもたせ、ストーリー性を表現することで、クリエイターとしての情報発信強化に繋げるようにした。ショッピングについてはスマートフォン対応可能となるように再設定を行い、アクセス増加とユーザビリティの改善についてアドバイスした。具体的にはSEO対策としてウィキペディア掲載情報編集、インスタグラム活用、Web広告アクセス解析ツール設置を実施し、管理委託で運営していたランディングページは、定期的にコンテンツを入れ替え可能となるようショッピングページの新規申込を行った。さらにアフィリエイト広告、リスティング広告活用検討も行った。



支援前のHP

## 成果

商品が趣味嗜好に影響される作品であり、購入動機も限られる。しかし、本企業が制作する作品は、芸術性が高いとともに実用可能な器が多く、良品である。情報発信内容も強化し、デザインを工夫したことにより、商品価値がいっそう伝わりやすくなった。また、HP・ショッピングサイト・ランディングページは制作から数年経過していたため、ウィキペディアの編集を含め情報の更新を行い情報量も充実した。Web広告についての理解が深まり、事後リスティング広告を実施した。プレスリリースとの相乗効果もあり、インターネットでの問い合わせも増え、近県から店舗ギャラリーへの訪問客が増加した。



支援後のHP

## 専門家の声

氏名：重楽 輝昭  
保有資格：情報処理2種  
専門分野：ITを活用した経営力強化  
専門家の声：HPのアクセス解析をもとに現状の転換率・リピータ率を算出し、今後のWeb広告の成果に要する適正な予算を検討した。



## 事業者の声

重楽専門家と相談させていただき、ホームページ、ショッピングページ、ランディングページ、SNS、ネット広告等の見直しを図ることができました。本企業のインターネットでの情報発信について、スマートフォン対応も実施でき、総合的に情報量の増加、情報更新ができたものと認識しております。クリエイターとしての表現も充実しました。このたびはありがとうございました。

専門家プロフィールURL (プロフィールをご覧いただくにはミラサポへのログインが必要です。)

<https://specialist.mirasapo.jp/consul/pro/003100000RxiENAAZ>